



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年6月25日

第76号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

中学校の先生に教えてもらって、記録が伸びました！

～中央中学校区 体育科乗り入れ授業～

6月11日（木）に中央中の体育科の先生2名が対雁小と中央小を訪れ、5年生の子どもたちを対象とした乗り入れ授業を行いました。主な内容は、新体カテストの種目に関する指導です。

初めに、子どもたちは、中央中の体育科の授業で行われている「ライディーン」という準備運動を中学校の先生に教えてもらいました。次に、中学生が授業で取り組んでいる「腕立て伏せ」「腹筋」「背筋」の補強運動を行いました。中学3年生は各運動を20回ずつ行っていますが、5年生は5回を目標にしてチャレンジしました。その後、中学校の先生が作成した「ソフトボール投げ」の動画を視聴し、「無重力を感じながら」「パワーをためて」「体が『イ』の字になるように」「45度の角度でボールを投げる」等、ポイントとなる点を指導してもらいながら実際に投げる練習を行いました。

他にも、「立ち幅とび」と「長座体前屈」の種目についても中学校の先生から指導を受けました。「立ち幅とび」では、「手の振り方」「パワーをためる膝の使い方」「着地の仕方」、「長座体前屈」では、「息をはきながら押すこと」「つま先から手を離さないで腰を後ろに動かす練習」等、子どもたちは、記録が伸びるポイントや練習法を教えてもらい、意欲的に学びました。

実際に記録が大きく向上し、目を輝かせて先生に嬉しさを伝える子、笑顔いっぱい喜びを表す子等がたくさんいて、今回の乗り入れ授業は、そのねらいを十分に達成することができました。また、小学校の先生方にとっての体育科指導法の研修の機会にもなっており、様々な効果が感じられる取組となりました。



対雁小 ソフトボール投げ



対雁小 長座体前屈



対雁小 立ち幅とび



中央小 ソフトボール投げ 立ち幅とび 長座体前屈（左から）



体が「イ」の字になるように

えべつ型コミュニティ・スクールと小中一貫教育の連動

～江陽中学校区・第二中学校区・大麻東中学校区の合同CS～

74、75号で今年度1回目の「えべつ型コミュニティ・スクール（CS）」の学校運営委員会の様子をお伝えしましたが、江陽中学校区（豊幌小・江別太小・江陽中）や第二中学校区（第二小・第二中）、大麻東中学校区（大麻東小・大麻泉小・大麻東中）では、2校ま

たは3校が同じ会場に集まり、合同で学校運営委員会を開催しています。

第二中学校区は、他校に先駆けて小中一貫教育のモデル校区となったことから、「えべつ型CS」が導入された平成29年度以降、2つの学校運営委員会を合同で開催してきました。

さらに令和5年度以降は、2つの学校で1つの学校運営委員会を設置（合同設置）し、小中一貫教育と一体的にCSを進めてきています。6月の1回目の学校運営委員会では、石狩教育局の社会教育主事を招き、第二中学校区の「目指す15歳の姿」について、委員間で熟議を行うワークショップを実施する等、中学校区CSとしての活動を充実させています。

また、大麻東中学校区は令和6年度から、江陽中学校区は令和7年度から、年度のはじめの学校運営委員会を3つの学校が合同で開催しています。2つの中学校区では、前半の全体会で経営方針や特色ある教育活動、中学生の進路等についての情報交換等を行い、中学校区の子どもたちの様子や課題等について共通理解を図っています。後半は学校ごとの部会（学校部会）に分かれて、委員長・副委員長の選出、学校運営委員会の活動計画や学校評価計画、学校支援の方向性等についての熟議が行われました。



江陽中学校区合同 CS 熟議の様子



第二中学校区合同 CS 熟議の様子



大麻東中学校区合同 CS 熟議の様子

中学校吹奏楽部の素敵な演奏に感動しました！

～野幌中学校区 吹奏楽部ふれあいコンサート(野幌若葉小・野幌小)～

江列市内の中体連が開催された日に、野幌若葉小で野幌中吹奏楽部による「ふれあいコンサート」が行われました。このコンサートは、野幌中学校区の小中一貫教育および連携を深める取組として例年行われているものですが、今年度からは新たな試みとして、野幌小の5年生と6年生の児童も会場に足を運び、一緒に演奏を鑑賞する形へと発展しました。尚、7月には東野幌小でも実施される予定となっています。

当日は、中学生が日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、体育館全体に素晴らしい音色を響かせてくれました。演奏された曲目は、アニメの主題歌やテレビでよく耳にする人気バンドの楽曲等となっており、子どもたちが親しみやすいように工夫されたプログラムで構成されていました。迫力ある生演奏に触れた野幌若葉小と野幌小の子どもたちは、自然と笑顔になり、手拍子を合わせたり、リズムに乗ったりしながら、学校の垣根を越えて体全体で音楽の楽しさを共有していました。目の前で一生懸命に楽器を奏でる中学生のお兄さん、お姉さんの姿は、高学年の小学生にとっては非常に大きな刺激となり、数年後の自分の姿と重ね合わせて、「あんな風になりたい」という具体的かつ身近な目標となっていました。

さらに、この取組は小学校の先生方にとっても大きな意義がある行事となっています。かつて小学校の教室で学び、ともに過ごした懐かしい教え子たちが、中学生となって心身ともに立派に成長した姿を再び見ることができるのは、大変感慨深く、貴重な機会となっています。

中学校区内の小学校同士の交流も生まれ、地域全体のつながりと子どもたちの確かな成長を実感できる素敵な1日となりました。



野幌中吹奏楽部の素敵な演奏



お礼を述べる児童会の子どもたち